

あなたは大丈夫？

製品の欠陥で 事故に遭ったら

『長年愛用してきた電気製品から火が出た』など、製品関連事故の話題が多く報道されています。

今月号では、事故に遭わないように、また、遭ってしまった時の対処方法についてご紹介します。

【事故に遭わないために】

○表示・取扱説明書を読む

製品事故の3分の1は誤った使用方法によるとも言われています。正しい使い方を守り、取扱説明書の冒頭や末尾に記載されている『注意』『警告』などは必ず目を通しておきましょう。

○点検や維持管理を心掛ける

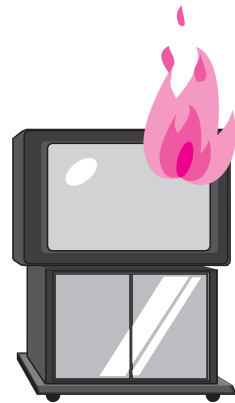
製品が長持ちしていても、品質は経年劣化していることがあります。点検や維持管理を心掛けます。

○安全性を考える

製品を選ぶ時は機能やデザイン、価格だけでなく、安全性についても十分確認しましょう。

○メーカーの社告に注意する

メーカーが発火・火災などの恐れがあるとして回収・交換を



呼び掛けた社告を出すことがあります。日ごろから社告に関心を持ち、家庭に該当する製品がないか確かめましょう。

【事故に遭ってしまったら】

○医療機関で診断・治療を受ける

身体に被害があれば、すぐに医療機関で診断・治療してもらいましょう。

○事故品は保管・事故は記録する

事故の原因となった製品は保管しておきましょう。また、事故の状況を写真に撮っておくなどして記録しておきましょう。

製品や記録を警察や消防署、業者に引き渡す時には預り証をもらいましょう。

【相談する】

消費生活相談窓口や民間のPLセンターで相談を受け付けています。

▼問い合わせ 市民サービスG

(☎ 853491)

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

柏吟会



『柏吟会』は、詩吟の担当師範である磯野さんに詩吟を学びたいという方が集まり、昭和60年に結成されました。

現在、会員は60代から80代までの25人。毎週火曜日に市民会館、金曜日に若草つどいセンターで、それぞれ10時から活動しています。

「詩吟は、漢詩や和歌に独特の節をつけて吟じ(うたい)ます。腹式呼吸でおなかから声を出すので健康維持に役立ち、ストレス発散にもなります。会の皆さんは、

詩吟のおかげか年齢よりも若く見られるんですよ。また、漢詩や和歌を覚えますので、知識を深めることもできるんです」と話すのは

担当師範の磯野岳涛さん。「会では、段位などの資格の取得を始め、市内などで行われる大会にも積極的に参加して、日ごろ

の練習の成果を発表しています。もちろん詩吟だけでなく、毎週顔を合わせ、おしゃべりするのも楽しみの一つです。ぜひ、このすばらしい詩吟を若い人にも理解していただいて、入会してもらいたいですね」と磯野さんは呼び掛けていました。

大きな声で吟じると、ストレス発散になり、毎日の生活が楽しくなります



来年25年目を迎える会では、現在5人の会員が、指導者の資格である師範の段位を取得しています。設立当初から入会し、現在では師範の段位を持っている山本美代子さんは、「磯野先生の指導のおかげでここまでできました。吟じる漢詩や和歌の歴史的背景や作者の心と詩情を解説してくださるので、とてもためになります」と楽しそうに話してくれました。

入会を希望される方は、磯野さんまでどうぞ (☎ 867025)